

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和3年10月29日

計画の名称	千葉茨城交流圏域における観光振興による広域的地域活性化																																
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）				交付対象	千葉県																											
計画の目標・広域的特定活動																																	
千葉県及び茨城県においては、成田国際空港や茨城空港を活用したインバウンド観光の推進、及び首都圏や国内線の就航先を中心とした国内誘客の促進に取り組んでおり、その効果を千葉茨城交流圏域（千葉県東葛地域・北総地域・東総地域・南房総地域、茨城県南地域・鹿行地域）に広げるため、現在整備が進められている圏央道や東関東自動車道水戸線などの高規格幹線道路を活かした観光ルートを形成することにより、広域的地域における旅行消費の拡大、地域の雇用機会の創出につなげ、地域活性化を図る。さらに、人口減少や高齢化に対応した「コンパクト+ネットワーク」の形成を図るため、より利用しやすい観光ルートを形成し、持続可能な都市構造の実現にも寄与する。 南房総半島地域における観光地アクセスを向上することにより、観光振興による半島の自立的発展・活性化を図る。																																	
計画の成果目標（定量的指標）																																	
<ul style="list-style-type: none"> 成田国際空港及び茨城空港の旅客者数を910百万人（H27年度）から1,110百万人（R03）に増加 千葉県東葛地域・北総地域・東総地域・南房総地域における観光客数を3,843千人（H27）から4,037千人（R03）に増加 																																	
定量的指標の定義及び算定式																																	
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2"></td> <td colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</td> <td rowspan="2">備考</td> </tr> <tr> <td>当初現況値</td> <td>中間目標値</td> <td>最終目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(H27末)</td> <td>(H31末)</td> <td>(R03末)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>① 成田国際空港及び茨城空港の旅客者数 (旅客数の増加割合) = (評価時点の旅客数 - H27の年間旅客数) / (H27年間旅客数)</td> <td>910百万人</td> <td>1,040百万人 (14%増)</td> <td>1,110百万人 (22%増)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 千葉県東葛地域・北総地域・東総地域・南房総地域における観光客数 (観光客の増加割合) = (評価時点の観光客数 - H27の年間観光客数) / (H27年間観光客数)</td> <td>3,843千人</td> <td>3,972千人 (3%増)</td> <td>4,037千人 (5%増)</td> <td></td> </tr> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値		(H27末)	(H31末)	(R03末)		① 成田国際空港及び茨城空港の旅客者数 (旅客数の増加割合) = (評価時点の旅客数 - H27の年間旅客数) / (H27年間旅客数)	910百万人	1,040百万人 (14%増)	1,110百万人 (22%増)		② 千葉県東葛地域・北総地域・東総地域・南房総地域における観光客数 (観光客の増加割合) = (評価時点の観光客数 - H27の年間観光客数) / (H27年間観光客数)	3,843千人	3,972千人 (3%増)	4,037千人 (5%増)	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																													
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																														
	(H27末)	(H31末)	(R03末)																														
① 成田国際空港及び茨城空港の旅客者数 (旅客数の増加割合) = (評価時点の旅客数 - H27の年間旅客数) / (H27年間旅客数)	910百万人	1,040百万人 (14%増)	1,110百万人 (22%増)																														
② 千葉県東葛地域・北総地域・東総地域・南房総地域における観光客数 (観光客の増加割合) = (評価時点の観光客数 - H27の年間観光客数) / (H27年間観光客数)	3,843千人	3,972千人 (3%増)	4,037千人 (5%増)																														
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,237百万円	A	4,237百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%																					

中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制	中間評価（事後評価）の実施時期
整備計画担当課にて評価を実施。	中間：令和03年11月 事後：令和04年10月予定
	公表の方法
	千葉県ホームページで公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 広域連携事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H29	H30	H31	R02	R03		
A11-001	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	国道	改良	(国) 356号我孫子バイパス	バイパス L= 0.8km	我孫子市						0	
A11-002	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	国道	改良	(国) 356号安食バイパス	バイパス L= 0.3km	印旛郡栄町						0	
A11-003	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	国道	改良	(国) 356号小見川東庄バイパス	バイパス L= 4.0km	香取郡東庄町						1,418	
A11-004	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	都道府県道	改良	(主) 船橋我孫子線 柏市大島田	バイパス L= 0.4km	柏市						263	
A11-005	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	都道府県道	改良	(一) 多古山田線 多古町南玉造	現道拡幅 L= 0.4km	香取郡多古町						79	H29完成
A11-006	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	都道府県道	改良	(主) 成田小見川鹿島港線 香取市沢	バイパス L= 1.0km	香取市						280	H29完成
A11-007	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	都道府県道	改良	(一) 下総橋停車場東城線 東庄町新宿	バイパス L= 1.0km	香取郡東庄町						1,800	
A11-008	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	都道府県道	改良	(一) 愛宕山公園線 銚子市天王台	バイパス L= 0.9km	銚子市						173	R02完成
A11-009	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	都道府県道	改良	(主) 旭小見川線 旭市清和甲	バイパス L= 0.3km	旭市						214	
A11-010	道路	一般	千葉県	直接	千葉県	—	—	千葉茨城交流圏広域観光推進事業	パンフレットの作成 等	—						10	
小計（広域連携事業）											4,237						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H29	H30	H31	R02	R03			
—																0	
合計											0						

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H29	H30	H31	R02	R03			
-																	
										合計	0						

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H29	H30	H31	R02	R03				
-																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

2. 事業効果の発現状況，目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	(一) 多古山田線 多古町南玉造（香取郡多古町）（A11-005）、（主）成田小見川鹿島港線 香取市沢（香取市）（A11-006）の整備が完了し、圏央道や東関東自動車道水戸線などの高規格幹線道路から観光拠点施設へのアクセス性が向上したことにより、観光入込客数の増加と遠隔地からの観光客誘致による周辺空港の旅客者数の増加が図られた。										
--------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

II 定量的指標の達成状況	指標①（成田国際空港及び茨城空港の旅客者数）	中間目標値	1,040百万人（14%増）	目標値と実績値に差が出た要因	広域幹線道路ネットワークの形成や国の観光立国に向けた取り組みなどの全国的な施策による効果や、成田国際空港や茨城空港が行う空港機能強化やサービス向上など各空港の取り組みによる効果に加えて、本計画における高規格幹線道路から拠点施設へのアクセス性向上を図る道路整備などの効果により、当初の中間目標値を上回る中間実績となった。	
		中間実績値	1,076百万人（18%増）			
	指標②（千葉県東葛地域・北総地域・東総地域・南房総地域における観光客数）	中間目標値	3,972千人（3%増）	目標値と実績値に差が出た要因		広域幹線道路ネットワークの形成や国の観光立国に向けた取り組みなどの全国的な施策による効果に加えて、本計画における高規格幹線道路から拠点施設へのアクセス性向上を図る道路整備などの効果により、対象地域全体の観光客数は増加傾向が継続し、当初の中間目標値を上回る中間実績となった。ただし、一部地域（南房総地域）で計画初年度以降に観光客数の減少が見られる地域があった。目標値と実績値に大きな差が出た要因として、東総地域における観光客数の大幅な増加（200%）が上げられる。この要因は当該地域の拠点施設「道の駅季楽里あさひ」が平成27年10月に開駅し、多数の入込が見られたためと考えられる。本施設は計画策定時において開駅後の観光客数データがなく目標値設定には観光客数を見込むことができなかったが、当該施設は拠点施設となるため実績値には見込んでいる。なお、当該施設を見込まない中間実績値は「4,097千人（7%増）」と当初の中間目標値を上回るため、目標の達成状況に問題はない。
		中間実績値	5,297千人（38%増）			

III 定量的指標以外の交付対象の効果の発現状況 (必要に応じて記載)	中間年度（H31）までに完成した要素事業と一体性のある拠点施設のアクセス性が向上した。 要素事業：（一）多古山田線 多古町南玉造⇒拠点施設：道の駅多古 整備効果：高規格幹線道路等インターチェンジからの移動時間が1分（24分→23分）短縮 要素事業：（主）成田小見川鹿島港線 香取市沢⇒拠点施設：道の駅くりもと 整備効果：高規格幹線道路等インターチェンジからの移動時間が1分（14分→13分）短縮 ※2事業とも事故件数については、整備後の事故データが未集計のため未算出										
----------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3. 特記事項（今後の方針等）

引き続き、残りの事業についても計画期間内に完成するよう計画的に実施して、高規格幹線道路を活かした観光ルートを形成することにより、観光振興による広域的な地域活性化を図る。事後評価時点の令和3年度においては、令和2年度以降の新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きくなるため、事後評価時にはその影響を考慮する必要がある。また、交付金対象事業（A11-001）および（A11-002）については、計画目標を達成するために必要な事業だが、用地買収が難航する恐れがあったため事業用地の目途がついた段階で整備計画を変更し事業実施を検討し、中間評価時点では事業実施できない見込みである。